漢字かな交じ り 書 を学ぶ

調和体を書く(20)

締切り(八月二十五日(必着)

回作品の出し方

▼毛筆部=半紙に書いて下さい。(筆ペン可)

▼硬筆部=B5判(二五七㎜×一八二㎜)以 下の紙に書いて下さい。用具は自由です。 (黒色に限る)

*出品制限の対象とはしませんが、出品は硬 毛のどちらか一方に限ります。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに 掲載しますが、成績表での順位発表はしま

奥 村 憲 照 先 生 書

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・ 硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の 成績)を、作品余白にお書き下さい。

> ◆書道のジャンルには、大別して「漢 字」「かな」「漢字かな交じり書」の 三つがあります。

◆読める書として人気を高めています ▼現代日本の文章表現は全て漢字かな 呼称で研究が進められています。 書法はまだ確立しておらず、各団体 作作品を指し、「調和体」「近代詩文」 交じり書ですが、ここでは芸術的創 で新和様・新書芸などのいろいろな が、古典といわれるものがない故に として書道の一部門を占めています。

◆読めてかつ、書格の高い作品を目指 ▼今回のお手本は、前会長奥村憲照先 して研究してまいりましょう。 していた頃の新和様のお手本です。 生が(財)日本書道教育学会に関係 本誌初登場です。

(読み)

失敗しない者はつねに 何事もなしえない

(解説)

①可読性を大切に。

③構成を工夫してみよう。 ②変体仮名・連綿はなるべく控える。 ※印のない方は赤ペンで□を書き入 ※落款(署名・捺印)は作品の一部 としてバランスよく収めて下さい。 れて下さい。

準初段から六段まで

[解

にく(みて

説)

新入から1級まで

〔解 説〕

(読み)

福は微なるより生じ禍は忽にするより生ず

説は 苑ね













◎今月は草書です。やわらかにリズミカルに運ペンする。又読み方に注意する。

で、

師範は

「楷書」

で出書して下さい。

▶教範・書範は右課題を「行書」







おか 聞 りゅう 野 田 書 ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会段位用紙

> することから生まれる」となります。 から生まれ、失敗は細事をゆるがせに

いつも気持ちを引き締めていれば

は慣れや油断から生まれるの

を避けることができるでしょう。

「成功は細事をゆるがせにしないこと

福」は成功「禍」は失敗と解釈し

劉向きょう 中国古代、前漢末の学者 (前七七~前六) (書体=行草または草書

有智より優越する 無智はいつでも

吉川栄治

大 じょう城 せい清 書 ▷用紙=本会級位用紙 いであると語っています。 · 9月課題予告(楷書)

▷用具=自由(黒色に限る)

★人道は…(書体=行書)

傲慢という意味で使われ、「謙」は謙ます。ここでの「盈」はさらに驕慢と だ」と言い、まさに「謙」 、驕慢を憎んで謙虚を好むのが人の道 盈」のもとの意味は 謙遜といった意味です。従って、 満ち足りた昇りつめた状態を言い (古代中国の書物 なる者は幸 「満つる」

▼9月課題予告 (行書)

期待できるものは 絶えず成長と発展を 人間の能力のみである

*教範・書範=楷書 ・師範=行草または草書

準初段から六段まで

子規なくや夜明の海がなるをとう文学を

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

新入から1級まで



農の

た 中 貴 光 書

○用具=自由(黒色に限る)

○用紙=本会級位用紙

子規なくや夜明の海がなる

本年 からない

視覚的に大きな情景を構成した作品。

書く。 (解説)「や 衣 あ り り」と「や を が」

◆9月課題予告

子規なくや夜明の海がなる本といき春鳴 阿那 阿爾農 可那

ちぎりきなかたみに渋き柿二つちぎりきなかたみに渋き柿二つ

(句解) 目覚めたままに夜明けの海鳴のを聞いていると、一声つんざくように鋭くほととぎすが鳴き過ぎていった。 (鑑賞) この句は海に近い大磯(神奈に鋭くほととぎすが鳴き過ぎていった。 (鑑賞) この句は海に近い大磯(神奈にはといき。 (場) での作と推定される。 (場) での作とができる。 (場) での形でにある。 (場) での作とができる。 (場) での形でにある。 (場) での作とができる。 (は) での作とができる。 (は) での作とができる。 (は) での作とができる。 (は) でのできる。 (は) でん) でのできる。 (は) でのできる。 (は) でのできる。 (は) でのできる。 (は) でのできる。 (は) でのできる。 (は) でん) でのできる。 (は)

-6 -

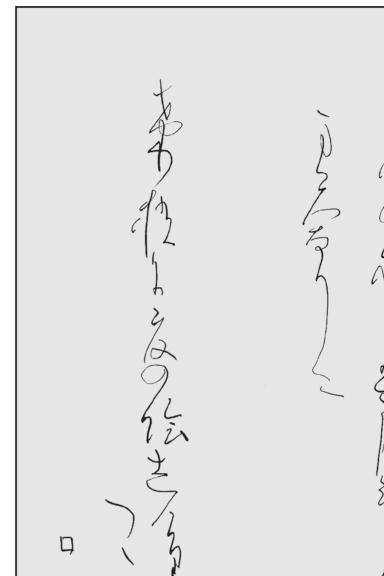
〔古筆参考〕

和泉式部続集切

一十七、からるる

八月二十五日(必着)

築な 瀬せ 舟り 香さ 書



よのなかをおもひすつまじきさまにし にすてよといひたるに
年額 てことなる事なきをとこのもとよりわれ

いのちあらばいかさまにせんよをしらぬんし だにあきはなきにこそなけ

ŋ

- (かと)(D) の部分大切、動きに注意 ○と○、歌と○、それぞれ €€< ④と○、 ④と○、 ④と□、
- ○余白を大切に。
- ↓の方向、⊙の位置に注意。

▼9月課題予告

しづ心なき天の川波 雲間より星合ひの空を見わたせば

こずゑに夏の陰茂りつつ

「精」ないでは分里でなりにけ、
庭の面は月もらぬまでなりにけ、 らしく樹陰も濃く茂って。 でになってしまったよ。木々の梢は夏 解説 [出典] 〔歌意〕庭の面は月の光も漏らさぬま 新古今和歌集 (新潮日本古典集成)

文 のページ 実 用

締切り 8月25日(必着)

友人の七人乗りの自動車を借りて、 ディズニーランドへ行く予定です。 撮影班でも頑張ろうと思います。 楽しい思い出をたくさん残そうと 運転手を兼ねてのカバン持ちです。 来月の連休には孫達にせがまれて

◎手本は水性ボールペン使用

ディズニーランドへ行く予定です 運転手を乗むしのカバン持とうは 友人の七人季りの自動車を信うて 来月の連体には孫達にせがまれて 多地下电流的人之里的多过。 い思いまれれたはあるかと

横書き課題

用具=はがき、横書き課題ともに自由

題は一般部段位用紙を横に使用 用紙=はがき課題ははがき用紙、

両課題とも、書体変換は自由です。

新入から師範まで、どなたでも出書でき

作品の出し方

す。成績は評価により毎月変わります。

ごう郷 尾 翠光 書

鈴虫はコオロギ科の昆虫で,雄が はねを擦り合わせて美しく鳴く。 佐賀県唐律市 名 E

※手本はつけペン使用。 ★三行目は**、指定の地名**と氏名を書いて下さい。

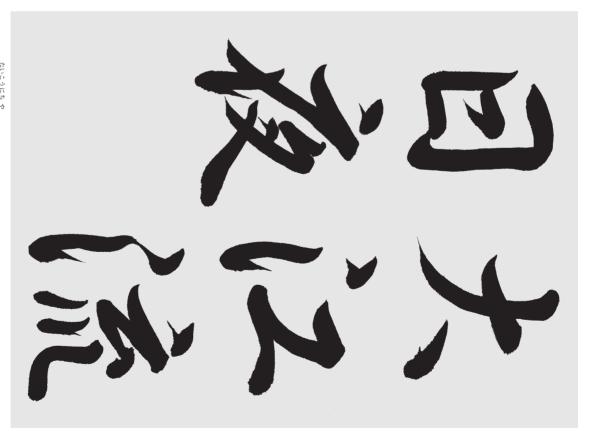
闘

本無知額資

が一次で一次

奥村暢之蹈

準初段から師範まで



(読み) 大江日夜に流る(大意) 大河は一日中(昼も夜も) 悠々と流れている。

[読み] (美れ丼) 本の無知なるを(以てすら) 猶お善に貸りて

〔筆者〕王羲之法書より集字

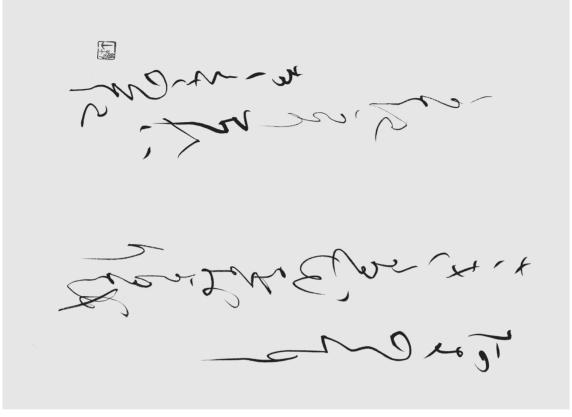
[出典] 集字聖教序 (672)

須田一葉書

新入から1級まで(行書)

〔歌意〕

[出) 中東のうえのおくら出上情長 秋の野に咲いている花を、 種類の花であるよ。 一し一し指折り数えると、まさに七



■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

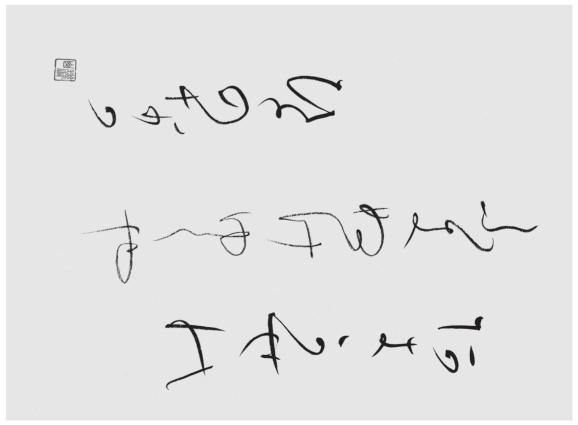
準初段から師範まで

あきかぜのふきぬけゆくや人の中岡支司を

[出) くほ たまんた 55 久保田万太郎

[句意] 賑やかな人通りの中を冷ややかな秋風が吹き抜けていく。雑踏 の中であればこそ一層そこに流れる秋のもの悲しさを感じるの

\$ \$ \$ \$



山北生 非機

新入から1級まで

般部毛筆細字課題

般部毛筆条幅課題

(一三六m×三五m)

切

半

締切り

八月二十五日(必着)

荻ぉ

田た 蒼き 仙せん 書

養 啼 午 夢 長 鷺 啼 午 夢 長

めぬ。 初出品の方へ

睡の夢はいつまでも醒: 「大意」鶯が啼いて午

を、作品左下に必ず 姓名·毛筆漢字成績 支部名•会員番号• お書き下さい。

次の画へ移るための収筆…即ち穂先が立つよう を!師をもたない方、研修会での有効活用を! 次の画に入りにくいのは、収筆の仕方に一考 に…かなも同じく重要…穂先を揃え直さないと

〔条幅解説〕

起筆次第では、

線が甘くなります。

半紙 (3 3 4 mm × 2 4 0 mm)

だ田 か玲 が華 と随 書

先日は有難うございました

市内を

一望出来る眺めと窓から吹き抜け

印で墨つぎしました。

今度は紅葉の季節にお邪魔します 渡る涼風に感動してしまいました

(ご自分の氏名

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位~5等)は、評価により毎月かわり

ょ

う

年

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう) 2 3 〈ようぐ〉自由 2 (黒色にかぎる) 2

★幼年は、 全員8マス用紙で出書して下さい。年少・年中・年長の別を記入して下さい。

※一人=単語としてこのように読みます。 (注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

たけ 人个分分竹 三五 宅游 容さ 王紫

幼年~小三年まで

書

小 年

準初段以上

ハチ ガツ 〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)) 刀刀月月 さと 口曰甲甲里

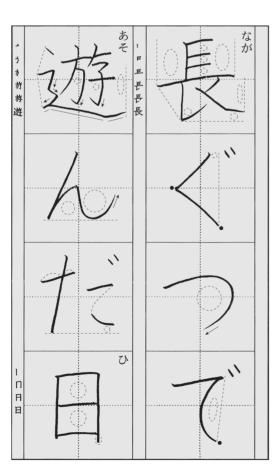


準初段以上

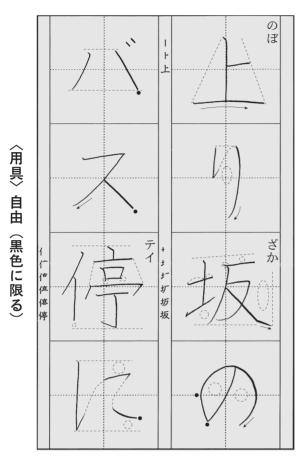
小

Ξ

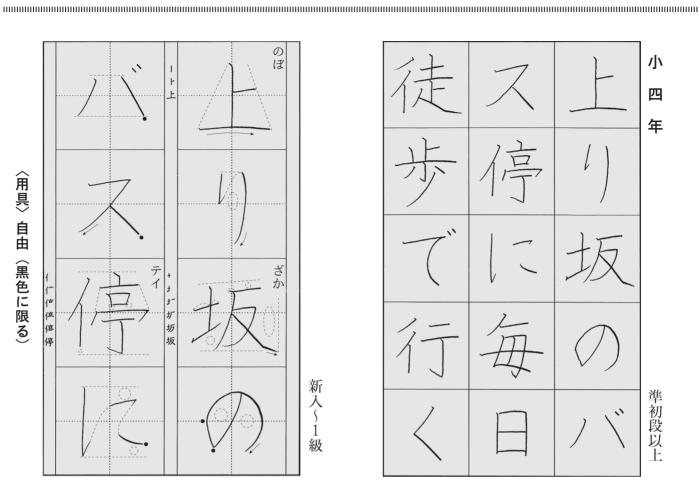
年



)	1	+	長
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使っては	1	4	< "
	雨	園	
	\bigcirc	て	2
いけません。		遊	は



チュウ



解 (よく見て習いましょう)

小 五 年 小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小四年以上 間が 嶋ま 桂い]][t 書

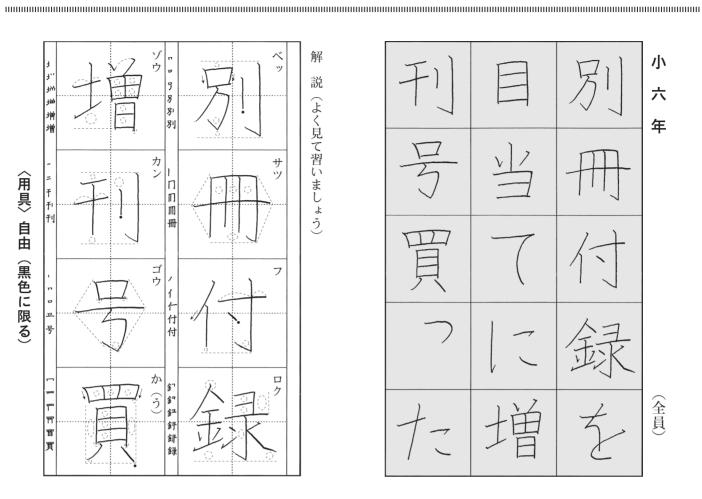
(全員)

小

六

年

(全員)



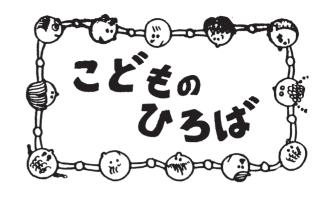
解

二・三年 (行書)

※老若男女 中 年 (行書)

▼小三年以下の課題 佐々木 小 泉 書





しめきり 8月25日(必着)

習っていない漢字は ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 永 谷 恵 子 書

電流みがある 東京によう までしょう

☆に、ころに、ころに、このでは、これ(五行・四年)

- 選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- でない。作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて
- 筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- を適当に短くして下さい。四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章
- **ていない方は新入とみなします。** 支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。**貼っ**

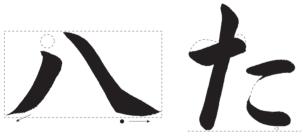
成績は評価により毎月変わります。



◎お手本はつけペン使用

 \mathbb{E}_{\sharp}^{t} 樹き 小りょう 華か 書

















小三〜小五年 水野香竹書

奥杉 村ら 暢ぶ 之き 書





